

加工食品等の製造/流通・販売における食品ロス削減

- ✓ これまでのパイロットプロジェクトの結果、3分の1ルールなどの商慣習の見直し（納品期限の緩和）は、食品ロス削減に相当の効果。
- ✓ 飲料と賞味期間180日以上菓子、納品期限緩和を推奨。
- ✓ 大手スーパー、コンビニから納品期限緩和を順次実施。

納品期限見直しパイロットプロジェクトの結果

【食品製造業】
鮮度対応生産の削減など未出荷廃棄削減

【物流センター】
納品期限切れ発生数量の減少、返品削減

【小売店頭】
飲料と賞味期間180日以上菓子は店頭廃棄増等の問題はほぼなし

【該当食品全体への推計結果】
飲料：約 4万トン（約71億円）
菓子：約 0.1万トン（約16億円） ※賞味期間180日以上菓子で実施
合計：約 4万トン（約87億円） ※事業系食品ロスの1.0%～1.4%

飲料・菓子の納品期限緩和を推奨

納品期限を見直した企業

実運用
問題なし

【26年度】イトーヨーカ堂、東急ストア、ユニー、セブン-イレブン・ジャパン、サークルKサンクス

【27年度】イオンリテール、ファミリーマート、ローソン、デイリーヤマザキ、スリーエフ

【28年度】ポプラ（4月開始）、ミニストップ（28年度実施予定）

今年度の取組

商慣習の見直し等により廃棄コストが軽減された取組等を分析・整理し、その内容を広く普及。

＜分析・整理の内容＞

- ・コスト削減効果、追加コスト発生等のメリット・デメリット
- ・商慣習の見直しに向けた関係者との調整の際のポイント 等

＜普及の手法＞

- ・整理した内容を実践的なモデルとし、セミナー（全国4カ所）等を通じて事業者へ広く普及
- ・その他、全国の小売店等を回り、商慣習の見直し等について情報提供

参加費無料

食品ロス削減研修会

「食品産業の商慣習改善に向けて」

全国8地域
開催

世界の穀物需給がひっ迫し、食料価格も上昇基調にある中、世界の生産量の3分の1にあたる13億トンの食料が毎年廃棄されており、食品ロスの削減は世界的にも大きな課題となっています。

また、食品ロスの削減に向けて、我が国の食品関連事業者においても、フードチェーン全体で食品ロスの原因の一つとなっている商慣習を見直ししていく取組が行われています。

商慣習の見直し等により食品ロスが削減された取組等を分析・整理した内容を広く普及し、食品産業の体質強化・商慣習改善の促進につなげていくため、食品ロス削減研修会「食品産業の商慣習改善に向けて」を全国4カ所で開催します。

対象者

食品関連事業者の方(メーカー、卸・小売業、生協、外食など)および地方公共団体の職員の方

プログラム(各回共通)

13:30~13:35	1. 挨拶 (公財)流通経済研究所
13:35~13:50	2. 基調講演「わが国の食品ロス削減に向けて」 農林水産省食料産業局 バイオマス循環資源課 食品産業環境対策室 (内容) 我が国の食品ロス削減に向けた政策、行政の立場からの食品関連事業者への期待等
13:50~14:35	3. 研修「先進事例に学ぶ、食品ロス削減を有効に進めるためのポイント」 公益財団法人流通経済研究所 (内容) 食品関連事業者における食品ロス発生・削減・商慣習見直しの現状、商慣習の見直し等による食品ロス削減の優良事例、返品削減を効果的に進めるためのチェックポイント、食品ロス削減に取り組む際の基準手順・ポイント等
14:35~14:45	休憩
14:45~15:45	4. 食品ロス削減の先進企業による事例報告 (内容) 企業の食品ロス削減の取組概要、取組事例における食品ロス削減効果・取組実施に当たったのポイント、企業におけるCSR活動としての食品ロス削減の取組等
15:45~16:00	休憩
16:00~17:00	5. パネルディスカッション「商慣習の改善に向けて」 コーディネーター: 専修大学 商学部長 教授 渡辺 達朗 氏 パネリスト: 事例報告企業3社 農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課 食品産業環境対策室 (内容) 商慣習改善に向けての各社の取組で苦労した点・課題、今後業界として取り組むべきテーマ・解決策、会場からの質問等

事例報告企業

東京	江崎グリコ株式会社 グループ渉外部 部長代理 古川 千春 氏 イオンリテール株式会社 商品企画本部 コーディネーター部 部長 石川 元明 氏 株式会社イトーヨーカ堂 加工食品部 シニアマーチャンダイザー 荻原 素宏 氏
名古屋	コカ・コーラ カスタマーマーケティング株式会社 トレードマーケティング本部 SCM推進部部長 前薗 佳典 氏 株式会社イトーヨーカ堂 加工食品部 シニアマーチャンダイザー 荻原 素宏 氏 株式会社ファミリーマート 商品企画・業務部 商品業務グループ マネジャー 松尾 準 氏
福岡	コカ・コーラ カスタマーマーケティング株式会社 トレードマーケティング本部 SCM推進部部長 前薗 佳典 氏 イオンリテール株式会社 商品企画本部 コーディネーター部 部長 石川 元明 氏 株式会社ファミリーマート 商品企画・業務部 商品業務グループ マネジャー 松尾 準 氏
大阪	江崎グリコ株式会社 グループ渉外部 部長代理 古川 千春 氏 イオンリテール株式会社 商品企画本部 コーディネーター部 部長 石川 元明 氏 株式会社ファミリーマート 商品企画・業務部 商品業務グループ マネジャー 松尾 準 氏

※プログラム、事例報告企業につきましては、変更となる場合がありますことをご了承願います。

開催日時・会場

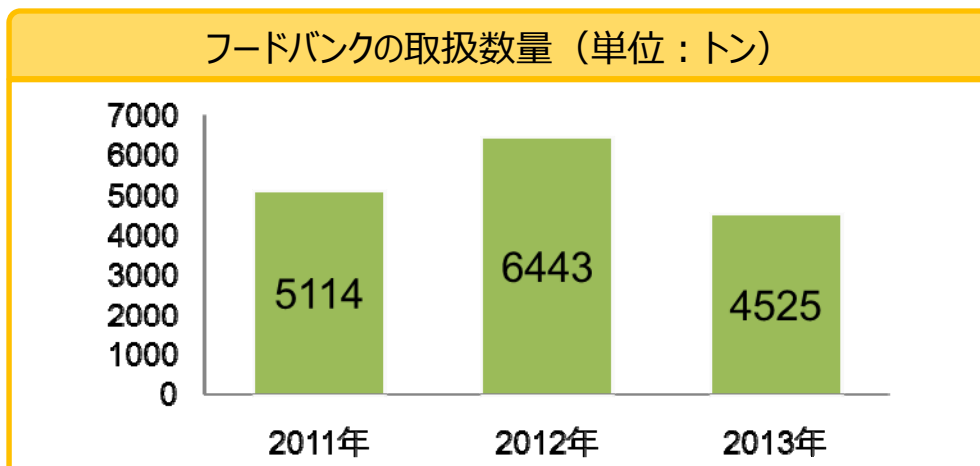
東京 定員 200名	平成28年11月25日(金) 13:30~17:00 ビジョンセンター東京 東京都中央区八重洲2-3-14 ケイアイ興産東京ビル	福岡 定員 100名	平成29年 1月20日(金) 13:30~17:00 TKPガーデンシティ博多 高千穂 福岡県福岡市博多区博多駅前3-4-8 サットンホテル博多シティ内 5F
名古屋 定員 100名	平成28年12月 9日(金) 13:30~17:00 TKPガーデンシティPREMIUM名駅桜通口「名古屋ダイヤビル3号館」 愛知県名古屋市名村区名駅3-13-5 名古屋ダイヤビル3号館	大阪 定員 100名	平成29年 2月 1日(水) 13:30~17:00 梅田スカイビル タワーイースト36階 スカイルーム1 大阪市北区大淀中1-1-88 梅田スカイビル

※地域・会場により、時間が異なりますので、十分ご確認ください。

主催:公益財団法人流通経済研究所
事務局:一般社団法人日本有機資源協会

食品としての有効活用～フードバンク活動

- ✓ フードバンク活動は、生産・流通・消費などの過程で発生する未利用食品を、食品企業や生産現場等からの寄付を受けて、必要としている人や施設等に提供する取組。
- ✓ もともと米国で始まり、既に40年の歴史があるが、我が国では、ようやく広がり始めたところ。
- ✓ 平成25年時点で、日本では北海道から沖縄まで約40団体が活動。取扱数量は約4,500トンと今後拡大の余地あり。
- ✓ フードバンクへの提供により、食品ロスの発生抑制に貢献。



※ フードバンクから別のフードバンクへの提供も含む

今年度の取組

フードバンク活動の推進・強化に向けた検討会・研修会等の開催や倉庫、食品の入出庫管理機器の賃貸料等を支援。

① 検討会・研修会開催、普及啓発支援

(取組例)

- 食品関連事業者、フードバンク活動団体、社会福祉法人等で構成される検討会を設置して具体的な取組計画やルール策定に向けた検討を行い、取りまとめた内容を関係する職員へ説明するための研修会を開催
- フードバンク活動推進に資する普及啓発資料を作成し、フードバンク活動の関係者に普及啓発を実施

② フードバンク活動支援

(取組例)

- 未利用食品を一時保管するための倉庫の賃借
- 未利用食品を運搬するためのハンドリフト、レンタカーの賃借
- 食品管理の高度化を図るための食品の入出庫管理機器の賃借

③ フードバンク活動に資する手引きを作成し、秋を目途に公表

④ フードバンク情報交換会の開催(全国8カ所)

参加費
無料全国8地域
開催

フードバンク活用推進情報交換会

「マッチング促進によるフードバンク活動の拡大に向けて」

「食品ロス」となる食品・食材を、食品製造業・小売業等から引き取り、福祉施設等へ無償で提供するフードバンク活動が、日本において広がっています。わが国では食品ロスが約632万トン発生していると推計されており、フードバンク活動の取組拡大は、食品ロス削減の観点からも大きな意義があると考えられます。

そこで、フードバンク活用推進のための情報交換会を全国8カ所で開催します。当日は行政・研究機関からの情報提供、フードバンク活動紹介などがあり、その後、参加者の皆様による意見交換・交流会を行います。

フードバンク活動にご関心のある食品関連事業者、およびフードバンク団体の皆様におかれましては、奮ってご参加下さりますようお願い申し上げます。

対象者

フードバンク活動にご関心のある食品関連事業者の方（メーカー、卸・小売業、生協、外食、農業者など）
フードバンク活動団体の方、地方公共団体の職員の方

プログラム

- (5分) 1. 挨拶 東京農業大学名誉教授・(一社)日本有機資源協会会長 牛久保明邦 氏、(公財)流通経済研究所
- (15分) 2. 情報提供 農林水産省食料産業局 バイオマス循環資源課 食品産業環境対策室
(内容) 我が国のフードバンク活動支援に向けた政策
行政の立場からのフードバンク・食品関連事業者連携への期待
- (30分) 3. 調査報告 公益財団法人流通経済研究所
(内容) 我が国の最新のフードバンク団体の活動状況
フードバンク活動の拡大に向けた取組や課題
- (10分) 休憩
- (60分) 4. 意見交換
(内容) フードバンク活動の拡大に必要な相互理解を深めるための意見交換を行います。
(食品の受取基準、商品供給方法、契約、品質衛生管理、提供先・提供先との取り決めについてなど)
- (30分) 5. フリータイム(交流、名刺交換等)

※プログラムにつきましては、変更となる場合がありますことをご了承願います。

開催日時・会場

東京 定員 100名	平成28年11月22日(火) 13:30～16:00 東雲合同庁舎5階共用会議室 東京都江東区東雲1-9-5	広島 定員 30名	平成29年1月13日(金) 13:30～16:00 TKPガーデンシティPREMIUM広島駅前 カンファレンスルーム8B 広島県広島市南区大須賀町13-9 ベルヴェオフィス広島
札幌 定員 30名	平成28年11月30日(水) 13:30～16:00 TKPガーデンシティ札幌駅前 カンファレンスルーム2E 北海道札幌市中央区北2条西2丁目19 TKP札幌ビル	福岡 定員 30名	平成29年1月19日(木) 13:30～16:00 TKPガーデンシティ博多新幹線口 3-A 福岡県福岡市博多区博多駅中央街5-14 福さ屋本社ビル
金沢 定員 30名	平成28年12月8日(木) 13:30～16:00 TKP金沢駅前カンファレンスセンター カンファレンスルーム3B 石川県金沢市広岡3-1-25 YSビル	大阪 定員 30名	平成29年2月2日(木) 10:00～12:30 TKPガーデンシティ東梅田 カンファレンスルーム6A 大阪府大阪市北区曾根崎2丁目11-16 梅田セントラルビル
名古屋 定員 30名	平成28年12月9日(金) 9:30～12:00 TKP名古屋駅前カンファレンスセンター カンファレンスルーム6C 愛知県名古屋市中村区名駅2-41-5 CK20名駅前ビル	仙台 定員 30名	平成29年2月15日(水) 13:30～16:00 TKPガーデンシティPREMIUM仙台東口 ホール10B 宮城県仙台市宮城野区榴岡3-4-1 アゼリアヒルズ

※地域・会場により、時間が異なりますので、十分ご確認ください。

主催事務局：公益財団法人流通経済研究所